

令和 8 年度 国語 3 年 年間指導計画

指導時期	学習単元・学習内容	教材名・学習活動
1 学期	文学的文章の読解	春に 立ってくる春 なぜ物語が必要なのか 私 薔薇のボタン
	説明文・論説文の読解	メディア・リテラシーはなぜ必要か？ AI は哲学できるか
	その他の活動	一言でまとめ一言から広げる 構成を考えて主張をまとめる 新聞が伝える情報を考える 呉音・漢音・唐音 助詞のはたらき 具体例をもとに説明文を書く 熟字訓 和語・漢語・外来語
2 学期	文学的文章の読解	旅への思い 和歌の調べ 風景と心情 最後の一句 俳句の味わい 初恋 故郷
	説明文・論説文の読解	Async 実用文を読む
	その他の活動	問いかける言葉 説得力のある批評文を書く 助動詞のはたらき 相手に対する配慮と表現 ニュースで情報を編集する 異字同訓 慣用句・ことわざ 自己 PR 文を書く 表現の工夫を評価してスピーチをする 四字熟語
3 学期	文学的文章の読解	バースデイ・ガール 青春の歌
	説明文・論説文の読解	生命とは何か 地球は死にかかっている 水の星
	その他の活動	持続可能な未来を創るために——人間の生命・存在を考える 意見を共有しながら話し合う 情報をまとめて作品集を作る やわらかな想い

令和 8 年度 書写 3 学年 年間指導計画

指導時期	単元名・教材名	学習活動の流れ
4～12 月	扉 第三学年	・ 第三学年における書写の学習内容や目標を理解することができる。
	一 行書を深めよう	・ 点画の変化と連続を理解して書くことができる。 ・ 次の文字への筆脈を理解して書くことができる。
	二 行書と仮名を調和させて書こう	・ 点画の連続を理解して書くことができる。 ・ 配列を理解して書くことができる。
		・ 行書と仮名の調和や配列を理解して書くことができる。
12・1 月	◇書き初めを書く	・ 行書の特徴や配列を理解して書くことができる。 ・ 中学校での書写学習のまとめとして、行書で書くことができる。
2・3 月	三 身のまわりの多様な表現をと おして文字文化の豊かさにふれ、効果 的に文字を書こう	・ 身のまわりで見かける、文字のもつ表現効果について考えることができる。
		・ 三年間の学習を生かして効果的に書き、日常生活に生かすことができる。

令和8年度 社会科 第3学年 年間指導計画

指導時期	単元名・教材名		学習活動の流れ		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
1 学期	【歴史】 二度の世界大戦と日本	第一次世界大戦と民族独立の動き 高まるデモクラシーの意識	第一次世界大戦の背景とその影響、民族運動の高まりと国際協調の動きなどから、歴史に関する諸資料の様々な情報について整理し、第一次世界大戦前後の国際情勢及び我が国の動きと、大戦後に国際平和への努力を理解している。	世界の動きと我が国との関連などに着目し、事象を相互に関連付けるなどして、第一次世界大戦による世界と我が国の社会の変化や影響について多面的・多角的に考察し、表現している。	第一次世界大戦の背景とその影響、民族運動の高まりと国際協調の動きについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
		戦争に向かう世論	我が国の国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化などをまとめ、政党政治の展開や社会運動の広まり、女性の社会的進出、大都市の発達や人々の生活様式や意識の変化を理解している。	世界の動きと我が国との関連などに着目し、事象を相互に関連付けるなどして、戦争による世界と我が国の社会の変化や影響について多面的・多角的に考察し、表現している。	第一次世界大戦前後の日本の政治・社会・文化における変化について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。
	【公民】 私たちの暮らしと現代社会	私たちが生きる現代社会	現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることについて理解している。	少子高齢化、情報化、グローバル化などが現在と将来の政治、経済、国際関係などに与える影響について、位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目しながら多面的・多角的に考察し、表現している。	少子高齢化、情報化、グローバル化が政治や経済、国際関係に影響を与えていることについて、主体的に社会に関わろうとしている。
		現代につながる伝統と文化	現代社会における文化の意義や影響について理解している。	位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目し、文化の継承と創造の意義について多面的・多角的に考察し、表現している。	私たちが生きる現代社会と文化の特色について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
		私たちがつくるこれからの社会	人間は本来社会的存在であることを基に、個人の尊厳と両性の本質的平等、契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任について理解している。	社会生活における物事の決定の仕方、契約を通じた個人と社会との関係、きまりの役割について多面的・多角的に考察し、表現している。	現代社会を捉える枠組みについて、現代社会に見られる課題の解決を主体的に社会に関わろうとしている。
	【公民】 個人を尊重する日本国憲法	日本国憲法の成り立ちと国民主権	日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本原則としていること、日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解している。	対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目し、我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面的・多角的に考察し、表現している。	個人の尊重についての考え方や日本国憲法の基本的原則などについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
2 学期	【歴史】 二度の世界大戦と日本	第二次世界大戦の惨禍	経済の世界的な混乱と社会問題の発生、昭和初期の我が国の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係、軍部の台頭から戦争までの経過について理解している。	二度目の世界大戦に向かっていった理由について、多面的・多角的に考察し、表現している。	経済の世界的な混乱と各国への影響について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
		【公民】 個人を尊重する日本国憲法	憲法が保障する基本的人権 私たちと平和主義	基本的人権を中心とした個人の尊重の考え方や民主的な社会生活を営むことの意義について多面的・多角的に考察し、表現している。	基本的人権を守ることや法に基づく政治の意義などについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

	【公民】 私たちの暮らしと民主政治	民主政治と日本の政治	議会制民主主義の意義や多数決の原理とその運用の在り方、国会を中心とする我が国の民主政治のしくみや政党の役割について理解している。	民主政治の推進と公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察し、表現している。	民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
		三権分立のしくみと私たちの政治参加	国会は、国権の最高機関であり、国の唯一の立法機関であることや、内閣について、我が国が議員内閣制を採用していること、法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解している。また、三つの権利が均衡を保ちながら果たしている役割を理解している。	将来の主権者として主体的に政治に参加することの意義や法に基づく裁判の保障、民主的な政治と政治参加に関わる課題について多面的・多角的に考察し、表現している。	民主的な国の政治のしくみや政治参加の方法、司法権の独立と法による裁判が憲法で保障されていることなどについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
		地方自治と住民の参加	地方自治の基本的な考え方や、首長と議会の二つの機関を中心に行われる地方自治体の政治のしくみ、住民の権利や義務について理解している。	地方自治体が行っている役割や地方財政のあり方などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	地方自治体で行われている実際の政治と身近な暮らしとの関連や地域の政治に参加することの意義などについて、主体的に社会に関わろうとしている。
	【公民】 私たちの暮らしと経済	消費生活と経済活動	身近な消費生活を中心に、経済活動の意義や流通のしくみについて理解している。	個人や企業の経済活動における役割と責任や流通機構の変化について多面的・多角的に考察し、表現している。	身近な消費生活や流通のしくみと経済活動とのつながりを、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に関わろうとしている。
		企業の生産のしくみと労働市場のしくみとはたらき 金融のしくみと財政の役割	現代の生産のしくみや企業のしくみと役割、勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の内容について理解している。現代の金融のしくみやはたらき、財政及び租税の意義や国民の納税義務について理解している。	企業の経済活動における役割と責任や、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善・金融機関の果たす役割や財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察し、表現している。	企業がもつ社会的責任や、社会の中で働くことの意義、国民生活における金融機関や財政の果たす役割について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
	3 学期	【歴史】 現在に続く日本と世界	第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係、欧米諸国の動き、戦時下の国民の生活などまとめ、戦争の経過と大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解している。	二度目の世界大戦が起こった理由やその戦争の影響を世界的な視野で、多面的・多角的に考察し、表現している。	第二次世界大戦の開戦から終結までの各国や日本の動きやこの大戦が及ぼした惨禍について、課題を主体的に追究しようとしている。
	【公民】 安心して豊かに暮らせる社会	暮らしを支える社会保障 これからの日本経済の課題	市場経済の基本的な考え方や市場における価格の決め方と資源の配分について理解している。	市場メカニズムが公正にはたらくために必要な条件や制度について多面的・多角的に考察し、表現している。	市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
	【公民】 国際社会に生きる私たち	国際社会の平和を旨として 国際社会が抱える課題と私たち	酸性雨や大気汚染、オゾン層の破壊、海洋汚染、森林減少など、人間が関与した地球環境問題は「持続可能な開発目標（SDGs）」の17の目標の何に当てはまるか考え、持続可能な発展に向け世界が協調して進める意義を理解している。	先進国と発展途上国など国家間や地域間により、持続可能な発展に向けた意見や考えの違いが生まれる理由を、多面的・多角的に考察し、表現している。	持続可能な開発目標の達成や地球環境問題の解決に向け、国や地域、個人がすべきことについて、主体的に取り組もうとしている。
	【公民】 わたしたちが未来の社会を築く	持続可能な未来の社会へ		社会的な見方・考え方を働かせわたしたちがよりよい社会を築くために解決すべき課題を多面的・多角的に考察し、表現している。	わたしたちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題について、に主体的に社会に関わろうとしている。

令和8年度 数学 第3学年 年間指導計画

	章	節
4月		1節 式の展開と因数分解 1 式の乗法, 除法 2 乗法の公式 3 因数分解
5月	1章 式の展開と因数分解	2節 式の計算の利用 1 式の計算の利用 章末問題
6月	2章 平方根	1節 平方根 1 平方根 2 平方根の値 3 有理数と無理数 4 真の値と近似値 2節 根号をふくむ式の計算 1 根号をふくむ式の乗法, 除法 2 根号をふくむ式の計算 3節 平方根の利用 1 平方根の利用 章末問題
7月	3章 二次方程式	1節 二次方程式 1 二次方程式とその解き方 2 二次方程式の解の公式 3 二次方程式と因数分解 2節 二次方程式の利用 1 二次方程式の利用 章末問題
9月	4章 関数 $y=ax^2$	1節 関数 $y=ax^2$ とグラフ 1 関数 $y=ax^2$ 2 関数 $y=ax^2$ のグラフ 2節 関数 $y=ax^2$ の値の変化 1 関数 $y=ax^2$ の値の増減と変域 2 関数 $y=ax^2$ の変化の割合 3節 いろいろな事象と関数 1 関数 $y=ax^2$ の利用 2 いろいろな関数の利用 章末問題
10月	5章 図形と相似	1節 図形と相似 1 相似な図形 2 三角形の相似条件 3 三角形の相似条件と証明 2節 平行線と線分の比 1 平行線と線分の比 2 中点連結定理 3節 相似な図形の計量 1 相似な図形の面積 2 相似な立体の表面積・体積 4節 相似の利用 1 相似の利用 章末問題
11月		
12月	6章 円の性質	1節 円周角と中心角 1 円周角と中心角 2 円周角の定理の逆 2節 円の性質の利用 1 円の性質の利用 章末問題

1 月	7 章 三平方の定理	1 節 直角三角形の 3 辺の関係 1 三平方の定理
		2 節 三平方の定理の利用 1 平面における線分の長さや面積 2 空間における線分の長さや面積
		章末問題
2 月	8 章 標本調査と データの活用	1 節 標本調査 1 標本調査の方法 2 母集団と標本の関係 3 データを活用して，問題を解決しよう
		章末問題
3 月	演習	

令和 8 年度 理科 3 学年 年間指導計画

指導時期	単元名・教材名	学習活動の流れ
4 月	生物の増え方と成長	1. 生物のふえ方の共通点と相違点や、親と子の特徴の関係性を見だし、図と言葉で説明する。 2. 無性生殖について、例をあげてその特徴を理解する。 3. 動物の有性生殖について、受精から発生の過程を理解する。 4. 被子植物の有性生殖について、受精から発生の過程を理解する。 5. 生物が成長するときの細胞の変化について理解する。 6. 細胞分裂の観察を適切に行い、分裂している細胞を探しだし、その特徴をスケッチなどで記録する。
	遺伝の規則性と遺伝子	1. 遺伝子の受けつがれ方について、無性生殖と有性生殖の違いを理解する。 2. メンデルの遺伝の実験内容と、実験結果の顕性形質と潜性形質の現れ方について理解する。 3. 遺伝子の伝わり方について、遺伝子を記号に置き換え、顕性形質と潜性形質の現れ方について説明する。 4. 分離の法則を理解し、実際に遺伝のモデル実験を計画することで、遺伝の規則性について探究する。 5. 遺伝のモデル実験について、探究の過程をふり返り、遺伝や遺伝の規則性について理解する。 6. 身のまわりの遺伝子やDNAに関する研究成果の利用を、例をあげて説明する。
5 月	生物の種類と多様性の進化	1. 生物は長い時間をかけて変化して多様な種類が生じたことについて、問題を見いだして表現する。 2. 脊椎動物の 5 つのなかまの共通する特徴について考察し、進化と関連づけて考える。 3. 植物や動物の進化の流れを理解し、学んだことを振り返り、図と言葉でまとめる。
6 月	水溶液とイオン	1. どのような水溶液に電流が流れるかを実験によって調べる。 2. 実験から、電流が流れる水溶液と流れない水溶液があることや、電流が流れる水溶液には電極付近で変化が起こっていることを考察する。 3. 実験結果から、塩化銅水溶液中では、銅原子は電気を帯びた粒子になっていることを推論し、説明する。 4. 塩酸に電流を流し、電極付近で発生する気体は何であるか調べる。 5. 実験から、塩酸中では、塩素原子は一の電気を帯びた粒子になっていることを推論し、説明する。 6. 塩酸や塩化銅水溶液に電流を流したとき、両極に生じる物質は何であるか理解する。 7. 原子の構造を理解し、原子が電氣的に中性である理由、原子がイオンになるしくみを理解する。 8. イオンの化学式の書き方を理解しており、代表的なイオンを化学式で表す。 9. 電離について理解し、電離のようすを化学式を使って表す。
7 月	電池とイオン	1. 硝酸銀水溶液に銅線を入れたときの反応のしくみを、粒子のモデルと関連づけて理解する。 2. 金属のイオンへのなりやすさの違いを実験によって調べる。また、結果をもとにイオンへのなりやすさを考察する。 3. ダニエル電池を製作し、電流が流れているときの変化を記録する。 4. 実験から、電池は化学エネルギーを電気エネルギーに変換していることを見だし、説明する。 5. 電池のしくみを理解する。 6. 身のまわりにはさまざまな電池があり、生活の中で使用されていることを理解する。
8 月 9 月	酸とアルカリ	1. 酸性やアルカリ性の水溶液に共通する性質を実験によって調べる。 2. 実験から、酸性、アルカリ性の水溶液に共通する性質のものがそれぞれ水素イオン、水酸化物イオンであることを考察し、説明する。 3. pH 7 が中性で、7 より小さいほど酸性が強く、7 より大きいほどアルカリ性が強いことを理解する。 4. こまごめビペットの使い方に慣れ、中和によって塩ができることを実験によって確かめる。 5. 中和によってできた塩の種類を、その形から類推し、説明する。 6. 中和により塩と水ができることについて理解する。 7. 中和と中性の違いについて理解する。 8. 中和のようすを、イオンのモデルを使って考察し、説明する。

10月	力の合成と分解	1. 水圧は水の重さによって生じ、深さが深いほど大きく、あらゆる向きにはたらくことを理解する。 2. 実験の結果から、水中のおもりにとはたらく力のようすについて考察する。 3. 水中にある物体には、物体にはたらく水圧の差から浮力が生じることを理解する。 4. 1つの物体にいくつかの力がはたらく場合に、物体にはたらく力の関係について理解する。 5. ばねばかりなどを使って、合力ともとの2力の関係を調べる。 6. 探究の過程をふり返り、角度をもってはたらく2力とその合力の関係を見いだす。 7. 力の合成や合力の意味、合力の求め方を理解する。 8. 力の分解や分力、分力の求め方を理解する。
	物体の運動	1. 物体の速さについて理解する。 2. 記録タイマーなどを使って、物体の運動のようすを調べる。 3. 記録タイマーなどを使って、一定の力がはたらき続ける物体の運動のようすを調べる。 4. テーブに記録された実験結果から、一定の力がはたらき続けたときの台車の運動を考察す。 5. 力がはたらかないときの物体の運動を理解する。 6. 物体に力がはたらかないときの運動について理解する。 7. 斜面上の物体の運動のようすについて、物体にはたらく力と関連づけて説明する。 8. 斜面上の物体にはたらく重力を、斜面に垂直な方向と平行な方向に分解する。 9. 作用・反作用の法則について理解する。
11月	仕事とエネルギー	1. 動滑車や斜面を使う場合と使わない場合について、物体を持ち上げたときの仕事の量を調べる。 2. 仕事の原理、仕事率について理解する。 3. 位置エネルギーの大きさと高さや質量の関係を考察する。 4. 運動エネルギーの大きさと速さや質量の関係を考察する。 5. 力学的エネルギー保存の法則について理解する。
12月	多様なエネルギーとその移り変わり	1. いろいろな種類のエネルギーがあること、エネルギーは相互に変換することができることを理解する。 2. 熱の伝わり方について理解する。
	エネルギー資源とその利用	1. いろいろな発電のしくみやそれぞれの特徴を理解する。 2. 放射線の種類や性質、利用方法および、人体への影響を理解する。
	地球から宇宙へ	1. 太陽の表面を観察するために必要な天体望遠鏡の基本操作、注意事項、記録の方法を理解する。 2. 黒点の形の違いからわかることを分析して解釈し、特徴を見いだして表現するとともに、科学的に考察する。 3. 惑星の特徴と表面のようすに注目しながら、地球型惑星と木星型惑星に分類できることを理解する。 4. 太陽系の小天体は、それぞれの特徴ごとに小惑星、衛星、すい星、太陽系外縁天体などに分類できることを理解する。 5. 銀河系や銀河系外の特徴に注目しながら、銀河が恒星の集まりであることや、恒星の明るさが距離や恒星の出す光の量によって異なることを理解する。
1月	太陽と恒星の動き	1. 透明半球を用いて太陽の動きを観察し、その結果を適切に記録する。 2. 透明半球につけられた点の記録を分析して解釈し、透明半球上の線が何を表すか、また、動く速さはどうなっているかを科学的に考察する。 3. 季節ごとの太陽の南中高度と昼間の長さについて、地球儀を用いて理解する。 4. 南中高度や昼間の長さが地軸の傾きによって変わることを理解する。 5. 透明半球に各方位の星の動きを記録した紙をはり、全天の星の動きを記録する。 6. 星の日周運動に関する事物・現象に進んで関わったり、観測をふり返ったりするなど、科学的に探究する。 7. 四季を代表する星座について、同時刻であっても位置が日ごとに移り変わることを理解する。

		8. 季節ごとに地球での星座の見え方が移り変わることを理解する。
	月と金星の動きと見え方	1. 地球から見える月の形や位置の変化を、月の公転と関連づけて理解する。 2. 月の動きや見え方、及び日食・月食が太陽・月・地球の位置関係によって起こることを理解する。 3. モデル実験の結果を分析し解釈して、金星の見え方の変化が規則的に移り変わることを見いだす。
	自然界のつり合い	1. 食物連鎖における生物のつながりについて理解する。 2. 食物連鎖の数量的な関係やそのつり合いの変化について理解する。 3. 落ち葉を出発点とした食物網について理解する。 4. 実験から、土の中の微生物のはたらきを考察する。 5. 自然界の炭素などの物質の移動を、呼吸や光合成、食物連鎖などと関連づけて理解する。
2月	様々な物質の利用と人間	1. 身のまわりのさまざまな衣服が、種類の異なる繊維からできていることを理解する。 2. 天然繊維と合成繊維の特徴を、その用途と関連づけて理解する。 3. プラスチックの性質を実験によって調べる。 4. 実験から、プラスチックの性質や特徴を見いだす。
	科学技術の発展	1. 交通輸送の手段の発展を、生活や社会の変遷と関連づけながら、科学技術の発展として理解する。 2. 科学技術の発展によって生じた問題に対して、科学技術が貢献していることを認識し、関連づけて考える。 3. 科学技術の発展にともなって、10年後の社会がどのようなになるか、科学的に考察する。
3月	人間と環境	1. 調査等の活動をふり返り、新たな疑問や課題を見いだして、探究する。 2. それぞれの自然災害について、その特徴や、災害が発生する原因を理解する。 3. 地域の自然の特徴や過去の自然災害、および災害に対する取り組みについて、多様な情報を活用し、まとめる。 4. 得られた結果を分析して解釈し、身近な自然の特徴と過去に発生した自然災害を科学的に考察する。 5. 資料をもとに、地球規模で進んでいる温暖化について多面的に理解する。 6. 人間の活動が、地球規模で自然環境へ影響を及ぼしていることを理解し、自然環境を保全することの重要性を理解する。
	持続可能な社会を目指して	1. 科学技術の利用により生じた問題と、その解決に科学技術が貢献していることについて理解する。 2. 循環型社会など、これからの社会において持続可能な社会をつくることが求められていることを理解する。 3. 得られた調査結果を分析して解釈し、自然環境の保全や科学技術の利用のあり方について科学的に考察する。

令和8年度 教科名 3学年 年間指導計画

指導時期	単元名・教材名	学習活動の流れ
1学期	ギター弾き語り 「アルプス一万尺」 「yellow submarine」 「マリーゴールド」	- ギターの各部の名称、構え方、基本的な奏法を学ぶ - ダイアグラムの読み方を知る - コードをストローク奏法で弾き、歌を重ねる
	歌唱 「花」	- 安心して歌うことができる環境を整える ・声量の最大値を目指す ・開始音を取る - 日本歌曲の意義と言葉に伴う表現を行う - 鼻濁音を使用しなめらかな発声を行う
	鑑賞 「交響詩わが祖国よりブルタバ」	- 音楽を構成する要素を言葉で表わす ・音楽に関する語彙を増やす - 音楽に大衆や国を動かす力があることを知る - 西洋音楽の中心地以外での音楽の興り、国民楽派を知る
	アルトリコーダー 「1オクターブで出来る曲集」	- ドレミファソラシドの1オクターブ分の音を元に複数曲を演奏する - サミングの奏法を復習する
2学期	合唱コンクールの取り組み	- 発声法、呼吸法を元に理想的な歌唱力を得る - アナリーゼ（楽曲分析）を元に自ら考え、意見を交換し合い音楽を構築する力をつける - アンサンブル能力を身に付ける
	アルトリコーダー 「1オクターブ半で出来る曲集」	- ドレミファソラシドの1オクターブ分の音に加え、低音ソラシを加えた音を元に複数曲を演奏する - アルトリコーダーの「シ」の特殊な運指について確認する - 低音域と高音域の息の入れ方の違いを知る
	鑑賞 「西洋音楽史」	- 音楽を構成する要素を言葉で表わす ・音楽に関する語彙を増やす - 今のポップスやジャズの源流となった西洋クラシック音楽の成り立ちと歴史を知る - 世界史の情勢と絡め文化と音楽の関わり、変遷を知る
3学期	アルトリコーダー 「1オクターブ+低音で出来る曲集」	- ドレミファソラシドの1オクターブ分の音+低音ソラシを元に複数曲を演奏する - 低音域と高音域の息の入れ方の違いを知る - 低音域の優しさを生かした奏法を身に付ける
	卒業式の合唱の取り組み	- 合唱コンクールで身に付けた発声法、呼吸法を元に理想的な合唱をする - 合唱コンクール、鑑賞で身に付けたアナリーゼ（楽曲分析）を元に自分たちで曲を読み解く力を身に付ける - 他クラスの自由曲をクラスを超えて教えあい学年合唱を完成させる

令和8年度 美術 3学年 年間指導計画

指導時期	単元名・教材名	学習活動の流れ
1 学期	京都奈良の仏像	・修学旅行で訪問する京都や奈良にある重要文化財や国宝について学ぶ ・仏像の制作の経緯や込められた思いに触れ、よさや美しさなどを感じ取る ・仏像の表情や持ち物などを詳細に鑑賞することを通して、仏像の形や色彩がもたらす性質や感情を理解する ・鑑賞を通じて考えたことや感じたことを、グループで伝え合い、共有する
	ポスタリゼーション	・各自が選んだ写真をもとに、明度を考えて諧調変更する ・写真に対するイメージから、色彩や色の組み合わせを工夫し、全体の構想を練る ・計画したとおりに、道具を効果的に扱い、絵の具の特性を踏まえて着彩する ・お互いの作品の鑑賞をすることを通し、互いの作品の良さや工夫に気づく
2 学期	現代アート	・現代アートの変遷について学び、多様な美術の在り方について理解を深める ・「美術とは何か」というテーマについて自分の考えをもち、議論することを通し、表現することについて考えを深める ・作者の展示の意図や工夫などを読み取りながら、作品の価値について考えを深める ・干渉を通し、生涯にわたって美術文化に親しむ心を養う
	自分を表す篆刻	・篆刻の歴史について学び、理解を深める ・豊かに発想しながら、自分らしい篆刻のデザインを工夫する ・意図に応じて試行錯誤する中で、より効果的な表現を追求する ・道具を安全かつ効果的に活用し、篆刻の印面や持ち手を制作する ・完成した篆刻を実際に活用することで、工芸美術としての価値に触れ、用と美について理解を深める
3 学期		

令和8年度 保健体育科 第 3 学年 年間指導計画

実施学期	単元名・教材名	学習活動の流れ		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
1 学期	体づくり運動 集団行動 体力テスト	自己の生活や体力に応じ体ほぐしを行い、体力を高めるための運動の合理的な行い方を身に付ける。		
		- 体づくり運動の意義について、理解したことを言ったり書き出したりしている。 - 体づくり運動の行い方について、学習した具体例を挙げている。 - 運動の計画の立て方について、理解したことを言ったり書き出したりしている。	- 体ほぐしのねらいである「心と体の関係に気付く」、「体の調子を整える」、「仲間と交流する」ことを踏まえて、課題に応じた活動を選んでいる。 - 関節や筋肉の働きに合った合理的な運動の行い方を選んでいる。 - ねらいや体力に応じて効率よく高める運動例やバランスよく高める運動例の組み合わせ方を見付けている。	- 体づくり運動の学習に積極的に取り組もうとしている。 - 分担した役割を果たそうとしている。 - 仲間の学習を援助しようとしている。 - 健康・安全に留意している。
	陸上競技 (短距離・リレー)	記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、陸上競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本的な動きや効率のよい動きを身に付ける		
		短距離走・リレーでは、滑らかな動きで速く走ることやバトンの受渡しでタイミングを合わせること	動きなどの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。	陸上競技に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどや、健康・安全に気を配ること。
	水泳	次の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、水泳の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、泳法を身に付ける		
		ア クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり速く泳ぐこと。 イ 平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり長く泳ぐこと。 ウ 背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり泳ぐこと。 エ バタフライでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり泳ぐこと。	泳法などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。	水泳に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全に気を配ること。
2 学期	球技（サッカー・バスケットボール）	勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームを展開すること。		
		ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防をすること。	攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。	球技に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、作戦などについての話合いに参加しようとするなど、一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとするなどや、仲間の学習を援助しようとするなどや、健康・安全に気を配ること。
		勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームを展開すること。		

		ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防をすること。	攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。	球技に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、作戦などについての話合いに参加しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとする、仲間の学習を援助しようとする、健康・安全に気を配ること。
器械運動（マット運動、跳び箱運動）	技ができる楽しさや喜びを味わい、器械運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、技をよりよく行うこと。			
	マット運動では、回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを組み合わせること。 跳び箱運動では、切り返し系や回転系の基本的な技を滑らかに行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと。	技などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。	器械運動に積極的に取り組むとともに、よい演技を認めようとする、仲間の学習を援助しようとする、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとする、健康・安全に気を配ること。	
球技（バレーボール）	勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームを展開すること。			
	ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をすること。	攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。	球技に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、作戦などについての話合いに参加しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとする、仲間の学習を援助しようとする、健康・安全に気を配ること。	
球技（ハンドボール）	勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームを展開すること。			
	ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防をすること。	攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。	球技に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、作戦などについての話合いに参加しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとする、仲間の学習を援助しようとする、健康・安全に気を配ること。	
陸上競技（長距離）	記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、陸上競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本的な動きや効率のよい動きを身に付ける			
	自己のスピードを維持できるフォームでペースを守りながら、一定の距離を走り通し、タイムを短縮したり、競走したりできるようになる。	動きなどの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。	陸上競技に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとする、健康・安全に気を配ること。	
3学期	現代的なリズムのダンス	感じを込めて踊ったりみんなで踊ったりする楽しさや喜びを味わい、ダンスの特性や由来、表現の仕方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、イメージを捉えた表現や踊りを通じた交流をすること。		

		現代的なリズムのダンスは、ロックやヒップホップなどの現代的なリズムの曲で踊るダンスを示しており、リズムの特徴を捉え、変化のある動きを組み合わせ、リズムに乗って体幹部（重心部）を中心に全身で自由に弾んで踊ること	表現などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。	ダンスに積極的に取り組むとともに、仲間の学習を援助しようとする、交流などの話合いに参加しようとする、一人一人の違いに応じた表現や役割を認めようとするなど、健康・安全に気を配ること。
	体育理論	文化としてのスポーツの意義について理解すること。		
		(ア) スポーツは、文化的な生活を営みよりよく生きていくために重要であること。 (イ) オリンピックやパラリンピック及び国際的なスポーツ大会などは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしていること。 (ウ) スポーツは、民族や国、人種や性、障害の違いなどを超えて人々を結び付けていること。	文化としてのスポーツの意義について、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えること。	文化としてのスポーツの意義についての学習に自主的に取り組むこと。
年間を通して配置	保健	(1) 個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3) 生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。		
		(1) 健康な生活と疾病の予防 (2) 心身の機能の発達と心の健康 (3) 傷害の防止 (4) 健康と環境		

令和8年度 技術・家庭（技術分野） 3学年 年間指導計画

指導時期	単元名・教材名	学習活動の流れ
1学期	材料と加工の技術 ・金属加工によるちりどりの製作	材料や加工の特性等の原理・法則と、材料の製造・加工方法等の基礎的な技術の仕組みについて理解する。 以下の活動を通して、金属加工を学ぶ。 ・金属の特性、金属の加工法を理解したうえで、ちりどりの製作に適した材料を選択する。 ・金属を加工する前に、紙で模型を作成する。 ・材料に加工に必要な線を正確に書き入れる。（けがき） ・金切りばさみを使用し、安全な切断を行う。 ・ペンチ、折り台、打ち木を使用し、安全な折り曲げを行う。 ・はんだごてを使用し、安全な接合を行う。 ・仕上げ
2学期		
3学期	情報の技術 ・双方向性のあるコンテンツ	チャットボットの制作を通して、互いにコメントなどを送受信できる簡易なチャットを教室内で再現し、更に利便性や安全性を高めるための機能を追加する等、家庭生活や学校生活における情報の表現や交流に関わる身近な不便さについて考える。

令和8年度 教科名 家庭科 3学年 年間指導計画

指導時期	単元名・教材名	学習活動の流れ
1 学期	ガイダンス	家庭分野について学ぶことを確認する
	5 編 2 章 幼児の生活と家族 ① 幼い頃の振り返り	・自分の幼児期を振り返り，幼い頃の夢，エピソードなどをまとめる。
	5 編 2 章 幼児の生活と家族 ② 幼児の体の発達	・幼児の体の発達の特徴について考える。
	5 編 2 章 幼児の生活と家族 ③ 幼児の心の発達	・幼児の心の発達の特徴について考える。
	5 編 2 章 幼児の生活と家族 ④ 幼児の1日の生活	・幼児の1日の生活を自分たちの生活と比較することで，幼児の特徴を理解する。
	5 編 2 章 幼児の生活と家族 ⑤ 支えられて身に付ける生活習慣	・幼児の生活習慣がどのように身についていくのか考える。
	5 編 2 章 幼児の生活と家族 幼児との関わりを生活に生かす	・幼児との触れ合い活動を通して，学んだことを発表する。
2 学期	5 編 2 章 幼児の生活と家族 ⑥ 幼児の生活と遊び	・幼児の生活やいろいろな遊びを観察し，遊びで育つ力について考える。 ・遊び道具や遊び場所について調べ，遊び道具の役割や遊ぶ環境について考える。 ・遊び道具を作る。
	5 編 2 章 幼児の生活と家族 ⑦ 幼児との関わり方の工夫	・幼児との触れ合いについて，自分の課題を設定する。 ・幼児に合った接し方や遊びを工夫し触れ合う方法を考える。
	5 編 2 章 幼児の生活と家族 ⑨ 子どもにとっての家族	・子どもが育つ環境としての家族の役割を考える。
3 学期	5 編 3 章 これからの家族と地域 ② 家族や地域の高齢者との関わり	・高齢者の体の特徴を理解する。 ・高齢者の体の特徴を踏まえ，関わり方を考える。
	5 編 3 章 これからの家族と地域 ③ 地域での協働を目指して	・家庭生活が地域との相互の関わりで成り立っていることに気づく。 ・地域のために自分ができることを考える。

令和8年度 英語 3学年 年間指導計画

指導時期	単元名・教材名	学習活動の流れ
1 学期	ギター弾き語り 「アルプス一万尺」 「yellow submarine」 「マリーゴールド」	- ギターの各部の名称、構え方、基本的な奏法を学ぶ - ダイアグラムの読み方を知る - コードをストローク奏法で弾き、歌を重ねる
	歌唱 「花」	- 安心して歌うことができる環境を整える ・声量の最大値を目指す ・開始音を取る - 日本歌曲の意義と言葉に伴う表現を行う - 鼻濁音を使用しなめらかな発声を行う
	鑑賞 「交響詩わが祖国よりブルタバ」	- 音楽を構成する要素を言葉で表わす ・音楽に関する語彙を増やす - 音楽に大衆や国を動かす力があることを知る - 西洋音楽の中心地以外での音楽の興り、国民楽派を知る
	アルトリコーダー 「1 オクターブで出来る曲集」	- ドレミファソラシドの1 オクターブ分の音を元に複数曲を演奏する - サミングの奏法を復習する
2 学期	合唱コンクールの取り組み	- 発声法、呼吸法を元に理想的な歌唱力を得る - アナリーゼ（楽曲分析）を元に自ら考え、意見を交換し合い音楽を構築する力をつける - アンサンブル能力を身に付ける
	アルトリコーダー 「1 オクターブ半で出来る曲集」	- ドレミファソラシドの1 オクターブ分の音に加え、低音ソラシを加えた音を元に複数曲を演奏する - アルトリコーダーの「シ」の特殊な運指について確認する - 低音域と高音域の息の入れ方の違いを知る
	鑑賞 「西洋音楽史」	- 音楽を構成する要素を言葉で表わす ・音楽に関する語彙を増やす - 今のポップスやジャズの源流となった西洋クラシック音楽の成り立ちと歴史を知る - 世界史の情勢と絡め文化と音楽の関わり、変遷を知る
3 学期	アルトリコーダー 「1 オクターブ+低音で出来る曲集」	- ドレミファソラシドの1 オクターブ分の音+低音ソラシを元に複数曲を演奏する - 低音域と高音域の息の入れ方の違いを知る - 低音域の優しさを生かした奏法を身に付ける
	卒業式の合唱の取り組み	- 合唱コンクールで身に付けた発声法、呼吸法を元に理想的な合唱をする - 合唱コンクール、鑑賞で身に付けたアナリーゼ（楽曲分析）を元に自分たちで曲を読み解く力を身に付ける - 他クラスの自由曲をクラスを超えて教えあい学年合唱を完成させる